

# 祝 御 入 学

## 南 稜 通 信

第 1 号

平成 2 4 年  
5 月 発 行  
長 野 南 高 校

### オリエンテーション合宿

学校長 茶鍋 和統

季節は春を迎え、人々の営みにも躍動感を感じられる時期となりました。皆さんの中学校でも、新鮮な出会いや新たな取り組みが始まっていると思いますが、長野南高校でも、向学心に燃える二百名の新生を迎えることができました。

じつは本校では、昨年度からオリエンテーション合宿への参加を新生に課しています。今年も新生たちは、入学式の感度も冷めやらぬうちに、担任の先生たちに連れられ、四月九日(月)から、黒姫高原のホテルで行なわれた一泊二日の合宿に参加しました。新生たちはこの合宿で、高校における勉強の意義やその方法を学ぶために、二日間勉強づけとなります。また決められたスケジュールの中で、「集団の中の一員としての役割と責任を常に自覚しながら行動する」ということも合わせて学びます。これらの学びを通して、新生はようやく長野南高校の生徒の一員となるのです。向学心に燃える人はさらに前向きに学習に取り組む気持になり、高校は遊ぶ所と思って入学した人には、その思い

を修正してもらおう機会となります。合宿後に行なったアンケート調査では、九十八%の人が参考になったと肯定的に捉え、また「授業の予習復習の仕方が具体的に分かった」「長時間の勉強に疲れたが頑張ることができた(自信がついた)」「予習の大切さが分かった。大変そうだけど頑張る」という前向きな感想を述べています。

高校では、日々の学習を怠れば、残念なことです。留年や卒業延期になります。本校では、各教科の授業について、一定の出席日数を満たし、かつ一定の成績をとることができなければ、単位不認定となり、進級・卒業ができなくなります。成績を満たしていても出席日数が不足すれば駄目ですし、出席日数を満たしていても成績が満たされなければやはり駄目です。たとえ一つの教科だけが不認定であっても、留年となってしまうので、一年かけて学びなおすこととなります。三年生で単位不認定となれば卒業もできなくなります。つまり高校では、学ぶことの責任とその結果については、皆さん自身が背負わなければならないということです。試験の前日に慌てて勉強するようなその場限りの学習では、せっかく高校に入学しても、やがては留年や卒業延期となる可能性がでてきます。

人が前向きに生きるためには、常に数年後の自分に関心を持ち、その時に自分が何かを成し遂げている、そんなことを想像しながら生きていくことが大切です。皆さんが日々頑張っている部活動でも、入

問い合わせ先  
教頭 大日方 博  
庶務 藪下 享士  
TEL026-284-8850  
(学校代表)  
TEL026-284-8851  
(教務室)

部して二年後・三年後には、試合で活躍している自分の姿を想像して練習しているはず。自分はいかにという想像が、日々の練習を支えているのです。



1年生学習合宿 黒姫ライジングサンホテル (信濃町)

## 公開授業のお知らせ

期日 平成二十四年 五月二十六日(土)

日程 全日公開です(何時からでも授業を

ご覧いただけます)

一時限目 八時四十五分～九時三十五分

二時限目 九時四十五分～十時三十五分

三時限目 十時四十五分～十一時三十五分

四時限目 十二時三十五分～十三時二十五分

\*保護者の皆様には、十三時四十分からPTA総会が予定されております。

\*スリッパをご持参ください。

# 一学年のスタートに当たって

一学年主任 山崎 一男

四月五日に、二百名の新入生を迎え一学年がスタートしました。あれから一カ月が経ち、生徒は学習やクラブ活動に励んでいます。新入生を迎えるに当たり、どんな学年にするかを、私たち担任で考えました。

一、イジメと暴力を許さない学年。

二、当たり前のことが当たり前にできる学年。

この二つがその結論でした。第二の目標の具体的な内容は、学習と清掃をしっかりすること、そして、クラブ活動への全員加入です。この目標の下に、四月九日と十日の二日間黒姫でオリエンテーション学習合宿を行いました。厳しい日程でしたが、生徒たちはあきらめることなく、最後まで頑張り所期の目的を達成することができました。

高校生活の最終的な目標は、進路が決まって卒業することです。この目標のために、すべての教育活動があるのだ、と思っています。私たちも、目標達成に努力しますの、保護者の皆様や地域の方々のご支援をお願いします。



## 平成24年度入学式



校歌練習風景

# 学習合宿に参加して

一年 男子

学習合宿に参加してみて、最初に驚いたことは、何時間も勉強するということです。確かに勉強はやらなければならないと思っていましたが、あんなにやるとは想像もしていませんでした。更に先生方から各教科毎に予習の仕方や復習のやり方を教えていただき、中学とは全然違うということを実感しました。もう一つ驚いたことは、時間に少しでも遅れてはいけないということです。僕たちはもう高校生で、あと少しで社会に行かなければならなくて、それを考えると時間の遅れは駄目なことなんだと思いました。

高校では中学の何倍も勉強して、規則を守っていかないと授業についていけなくなり、眠くても疲れていても勉強はしなくてはならないと思えました。そして時間をしっかりと守り、これから将来一人でもしっかりとやっていけるように準備をしなくてはならないと今回の学習合宿を通して思いました。

# 長野マラソンボランティアに参加して

生徒会副会長

今回、我々生徒会の中から十四人が参加したボランティアは、第十六回目を迎える長野マラソンです。昨年は東日本大震災の影響で中止となり、二年ぶりの開催でした。

私たちの仕事は、走り終えたランナーにおしぼりとタオルを渡すことでした。そのため、ランナーのゴール姿を見ることができました。疲れた顔をして帰ってくる人、笑顔で帰ってくる人、様々ですが、ゴールを目指して真っ直ぐ走り続けるという姿勢に感動しました。また、ランナー全員に対して観客や運営関係者で声援を送るといふ姿に、『こうして人は支えあっているんだ』と深く感じる事ができました。この長野マラソンのボランティアに参加できてよかったです。



長野マラソンボランティア (長野オリンピックスタジアム)

